

授業についてのチェックリスト（教師の自己評価）

年 組 （

）平成23年度

授業チェックリスト（前期分）	5月	6月	7月	9月	月
1. 教室環境について					
① 黒板には授業と関係のある情報だけにする。					
② 教室掲示の工夫（前面をすっきり など）をする。					
③ 子どもの実態に合わせて座席の工夫をする。					
2. 授業の土台づくり					
① 子どもが話を聞くときや発表するときのルールを作っている。					
② 教師も発表のルールを守っている。					
③ 子どもの興味をひきつける発問を工夫している。					
④ 授業の始めと終わり、授業の流れがはっきりしている。					
⑤ 板書の仕方を工夫している。（㊟カードなどの視覚支援カードも含む）					
⑥ 授業の中で、子どもの表情を見たりつぶやきを聞いたりしている。					
⑦ 休み時間に次時の準備をさせている。					
⑧ 子どもの状況にあった学習の方略（解き方など）や「学習したこと」を掲示している。					
3. カリキュラム					
① 単元の中での授業の位置づけが明確である。					
② 学習したことが日常の生活に生かせることを意識して指導している。					
4. 目標の設定					
① この授業で何を学ばせたいのか（めあて）を明確にしている。					
② 子どもの多様な学習ニーズに応じ、様々な段階の目標を設定している。					
5. 指示・説明・発問					
① 子どもへの「指示・説明・発問」と子どもの「活動の場」を分けている。					
② 指示の仕方を工夫している。（短く、具体的に、ゆっくり、はっきり など）					
③ 操作学習や反復学習の機会を用意している。					
6. 教材					
① ニーズの調整のため、ワークシートや補助プリントなどを用意している。					
② 個々のニーズに応じて、学習内容の理解を助けるための教材や教具の工夫、IT機器の有効的な活用をしている。					
7. 授業への子どもの積極的な参加					
① 子どもたちが考えたり、問題解決をしたりする場面を用意している。					
② ペア学習やグループ学習を場に応じて取り入れている。					
③ 子どもたち同士に「教えて」と言える関係ができています。					
8. 評価					
① 子どもに対する肯定的な評価を心がけている。					
② 内容の理解や学習の定着を確認し、次の授業に生かそうとしている。					
③ 子どもが既習の内容を様々な方法で表現する場を設けている。					
④ 評価規準が明確になっている。					
⑤ 子どもが学習について振り返る場を設けている。					

* ○よくできた ◯できた △不十分